

※今月のみ受注の書目です。

日本経済でご担当者さま

現代日本の消費分析

ライフサイクル理論の現在地

(2023 年 5 月下旬刊行予定)

宇南山卓 (京都大学経済研究所教授) [著]

A5 判上製 / 528 頁 税込予価 7,480 円 ISBN978-4-7664-2895-7 C3033

👉 ココに注目!

- 日本の家計はどのように消費を決定しているのか。
- 高度成長期やバブル期と比べ大きく様変わりした現代日本の消費行動を、「消費のライフサイクル理論」を用いて一貫した視点から総合的に分析。
- 環境変化が家計行動をどう変えるのか、そのメカニズムの解明を試みる意欲作。

- ①「消費のライフサイクル理論」の今日的な意義と目的を、総合的に理解すること。
- ②ミクロデータを用いて、ライフサイクル理論の家計消費行動における実証分析をまとめること。
- ③日本の家計消費に関する課題や政策的介入の可能性、将来像についての知見をまとめること。

この3つが本書の大きな目的であり、著者は過去10年以上に亘って、日本のデータを用いたライフサイクル理論の実証研究を重ねてきた。ライフサイクル理論の実証は、今日の応用計量経済学の中心テーマの1つであり、ミクロ計量分析の理解を深めるうえでも大いに役立つであろう注目の一書。

対象 経済学（とくに消費分析）を専攻する研究者、経済・金融関係官庁の官僚・シンクタンクのエコノミスト

類書 阿部修人『家計消費の経済分析』（岩波書店）

【著者紹介】

宇南山 卓 (うなやま たかし)

1974 年生まれ。97 年、東京大学経済学部卒業。2004 年、同大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。慶應義塾大学専任講師、京都大学講師、神戸大学准教授、一橋大学准教授、同教授を経て、2020 年より現職。この間 2013 年～15 年、財務省財務総合政策研究所へ総括主任研究官として出向。キプロス大学、英ユニバーシティカレッジロンドン、米ボストンカレッジ、米コロンビア大学に客員研究員として滞在。財政制度等審議会、社会保障審議会、統計委員会などの臨時委員を歴任。

👉 主要目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

第I部 消費の決定理論

第1章 消費のライフサイクル理論

消費の決定とは／所得と消費：ケインズ型消費関数／ライフサイクル理論の基本モデル／消費の平準化／ライフサイクル理論と恒常所得仮説／コラム1：相対所得仮説／コラム2：指数割引と時間整合性

第2章 所得の不確実性と消費

所得の不確実性と確実性等価モデル／消費の決定要因としての「情報」／同時点の所得と消費：再考／政策のアナウンスと消費の変化—2014年の消費税率の引上げ／所得リスクと予備的貯蓄／予備的貯蓄の含意／予備的貯蓄の重要性／コラム3：不確実性と「消費保険」

第3章 異時点間の消費の代替

消費の平準化と実質利子率／CES型の効用関数と異時点間の代替の弾力性／予期しない実質利子率の変動と消費の反応／実質利子率の影響の発生タイミング／異時点間の代替の弾力性の推計とその課題／補論：CES型の効用関数におけるオイラー方程式の導出

第4章 利子率と日本の消費

日本の異時点間の代替の弾力性(IES)の推計／「大胆な金融政策」と消費／ライフサイクル理論と日本の消費／補論：IESの推計式の導出

第II部 ライフサイクル理論の検証と拡張

第5章 ライフサイクル理論の検証

ライフサイクル理論の「検証」／オイラー方程式と消費の変化—ランダムウォーク仮説—／予期された所得の変動と過剰反応テスト／過剰反応テストとデータ／マイクロデータを用いた過剰反応テスト／マイクロデータで観察された過剰反応／家計の非対称性と過剰反応テスト／コラム4：予期されない所得変動の分析

第6章 退職消費パズル

退職消費パズルとは／日本における引退前後の所得と消費／退職消費パズルの発生要因／日本の退職制度と老後の消費／生涯現役社会と老後の生活設計／補論：退職消費パズルとデータ

第7章 過剰反応と流動性制約

流動性制約とは／流動性制約のモデル化—借入制約—／過剰反応と限界消費性向／資産選択と流動性制約／ライフサイクル理論とケインズ型消費関数：再考／コラム5：その日暮らしと貧困

第8章 ライフサイクル理論のフロンティア

理想の過剰反応テスト／自然実験としての公的年金給付／年金給付に対する過剰反応／家計の「合理性」の再検討

第III部 現金給付の経済学

第9章 消費刺激の経済学

消費刺激策とライフサイクル理論／消費刺激策のMPC／消費刺激策のターゲット／消費刺激策としての流動性の供給／現金給付と商品券／行動経済学と消費刺激策／コラム6：消費刺激策の有効性をめぐるフロンティア

第10章 児童手当の効果

経常的な所得移転と家計行動／児童手当とは／児童手当に対する過剰反応／児童手当の資産への影響／消費の内訳とラベリング効果／コラム7：リバタリアン・パターナリズム

第IV部 家計収支の把握

第11章 政府統計における家計収支

統計の体系と家計収支データ／日本の家計収支データ／消費データの乖離とその原因／消費家計収支調査とライフサイクル理論の分析／コラム8：全国家計構造調査と全国消費実態調査

第12章 新しい家計収支データ

家計収支統計の直面する課題／新しい消費統計／家計簿アプリデータとRICHプロジェクト

第V部 貯蓄の決定要因

第13章 ミクロとマクロの貯蓄率

ライフサイクル理論と貯蓄の決定／ミクロとマクロの貯蓄率の乖離／家計調査の調査範囲と貯蓄率／貯蓄の概念／家計調査の非標本誤差／貯蓄率のマイクロデータに基づく分析に向けて

第14章 人口動態と貯蓄

高齢化と貯蓄／全国消費実態調査によるミクロの貯蓄率データの構築／所得・消費・貯蓄の年齢プロファイル／高齢化の貯蓄率への影響／日本の貯蓄率とライフサイクル理論／コラム9：SNAと世帯調査の水準差：残された謎



ご注文は FAX で！ 03 — 3451 — 3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			宇南山卓 編 現代日本の消費分析 —ライフサイクル理論の現在地 ISBN978-4-7664-2895-7 C3033	7,480 円	★★★

★1つで「500部」を表します